

米国株式市場の足元の注目ポイントと情報技術(IT)セクターの投資環境

- **米大統領選**: 勝者に関わらず、米国株式市場は大統領選後に上昇する傾向
- **ITセクターのバリュエーション**: 過去数年の株価上昇は主に利益成長が牽引、過度な割高感は見られない
- **米国の利上げ**: 過去の利上げ後におけるITセクターのパフォーマンスは堅調



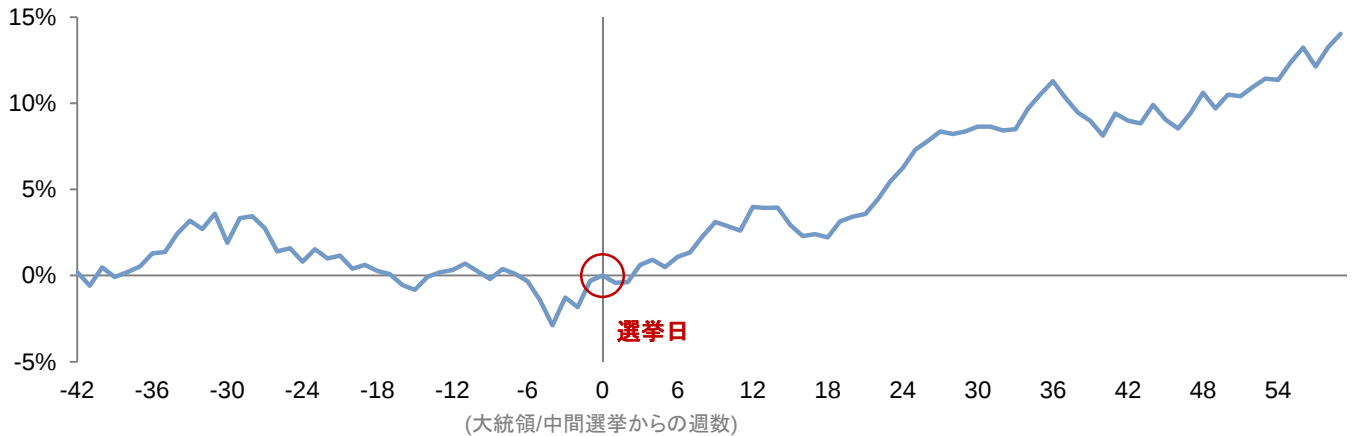
米大統領選と米国株式市場

勝者に関わらず、米国株式市場は大統領選後に上昇する傾向

税政策、医療制度、移民政策、あるいは財政支出に関する大幅な変更の可能性は、時に市場の混乱を招きます。選挙運動中の大統領候補者は、実現可能性よりもインパクト重視の政策を掲げる傾向が高いため、選挙前の米国株式市場は、このような政策の不透明感を反映させる格好で、一時的に神経質な展開となる傾向が見られます。

しかし、議会や法的小よび手続上の現実に屈する形で、大統領選挙後に施工される政策が、選挙運動での公約と異なることはこれまでも頻繁にありました。過去の傾向によると、株式市場から一定の不確実性が排除されることで、どちらの政党がホワイトハウスを勝ち取ったとしても、米国株式市場は、選挙後数ヵ月間上昇を続けています。

大統領/中間選挙前後の米国株式市場の平均リターン推移



過去の大統領候補者の公約と実際の政策

年	政党	選挙時の公約	実際の政策
1932	 民主党	財政収支均衡	ニューディール政策(大規模な財政支出)
1988	 共和党	増税はしない	増税
2004	 共和党	有人月面探査再開	NASA予算超過/有人月面探査計画頓挫
2008	 民主党	公的医療保険オプションの提供	オバマケアによる個人の保険加入義務化
2016	 共和党	移民制度強化	未決定
2016	 民主党	大学授業料一部無償化	未決定

出所: GSAM 2016年10月時点

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社およびゴールドマン・サックス・グループで投資運用業務を行う関係法人を総称して「ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント」あるいは「GSAM」と呼ぶことがあります。

米国情報技術(IT)セクターの足元の投資環境

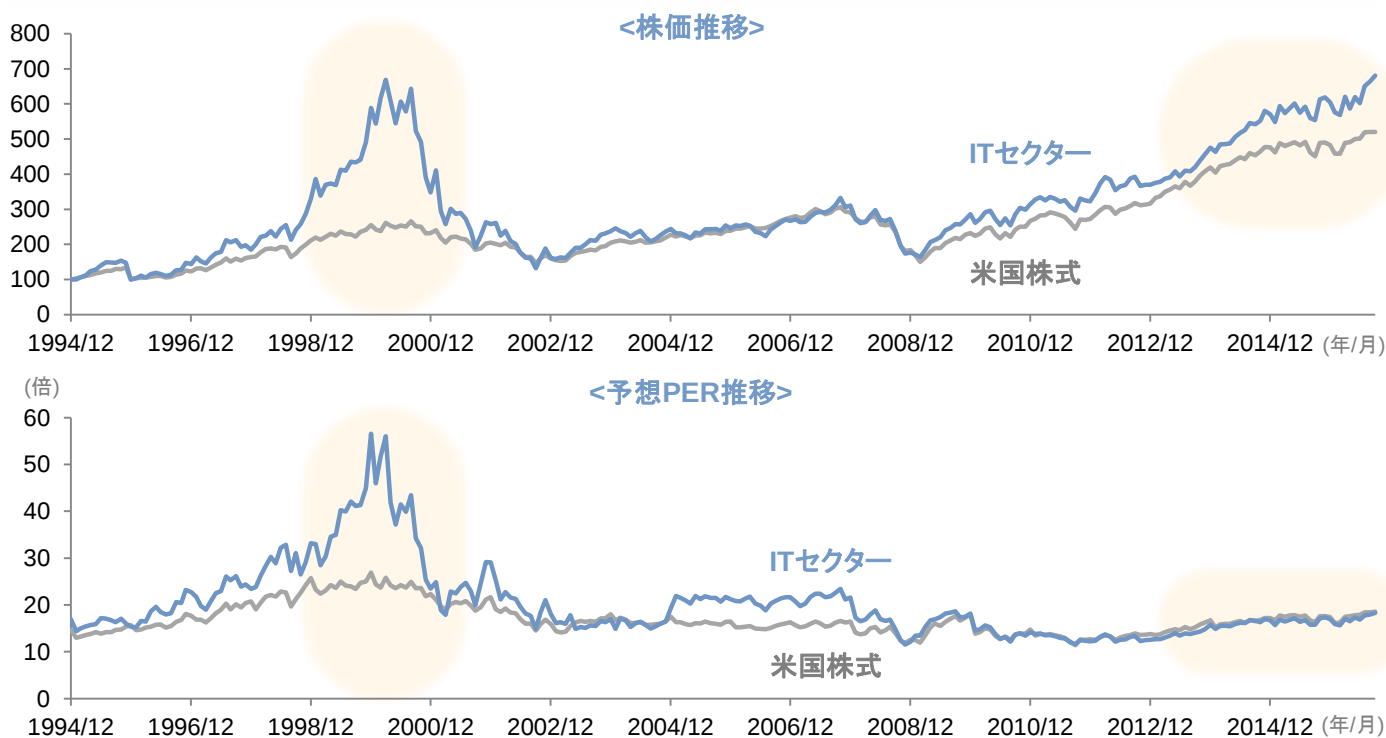


米国ITセクターの株価推移とバリュエーション

ITセクターは高値を更新し上昇するも、主に利益成長が牽引、ITバブル期のような割高感は見られず

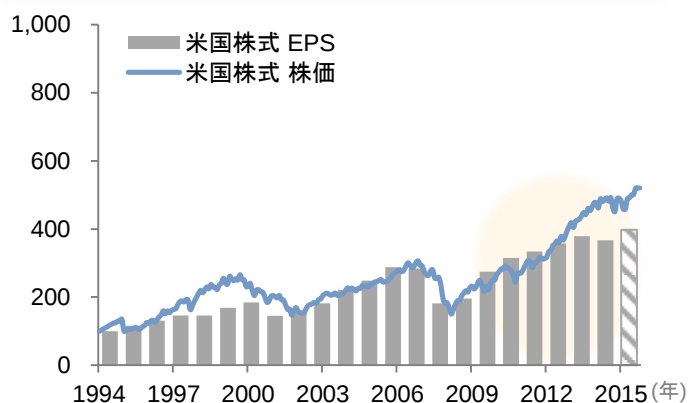
2016年9月末時点、ITセクターの過去3年間のリターンは累積+62%と米国株式市場全体の+37%を大きく上回り、株価は過去最高値を更新しています。株価の上昇は主に利益成長が牽引しており、米国株式全体との比較では過度な割高感は見られません。IoT(Internet of Things:モノのインターネット)、AI(人工知能)、ビッグデータ、クラウドコンピューティングなど、新たな技術革新からITセクターに注目が集まっていますが、過度な期待のみで株価が高騰したITバブル期とは大きく状況は異なります。

米国株式とITセクターの株価および予想PER(株価収益率)の推移

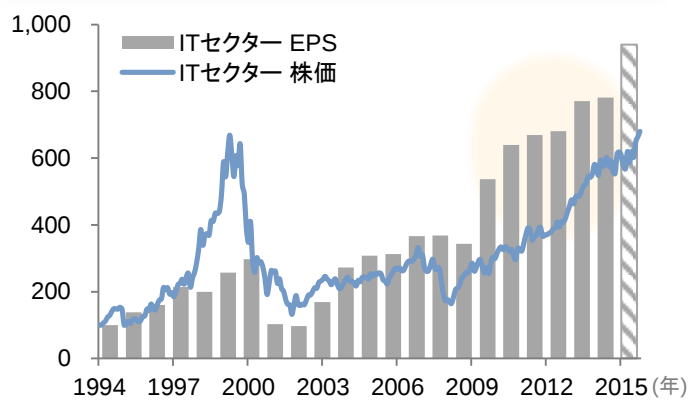


出所: ブルームバーグ、GSAM 期間: 1994年12月末～2016年9月末、米国株式: S&P500指数、ITセクター: S&P500情報技術セクター指数、米ドルベース
 上記の株価は配当込み、1994年12月末を100として指数化

米国株式の株価およびEPS(1株当たり純利益)推移



米国ITセクターの株価およびEPS推移



出所: ブルームバーグ、GSAM 期間: 1994年12月末～2016年9月末(EPSは2016年まで)、株価、EPSともに1994年末を100として指数化、米ドルベース
 米国株式: S&P500指数、ITセクター: S&P500情報技術セクター指数、株価は配当込み、2016年のEPSは2016年9月末時点の予想値

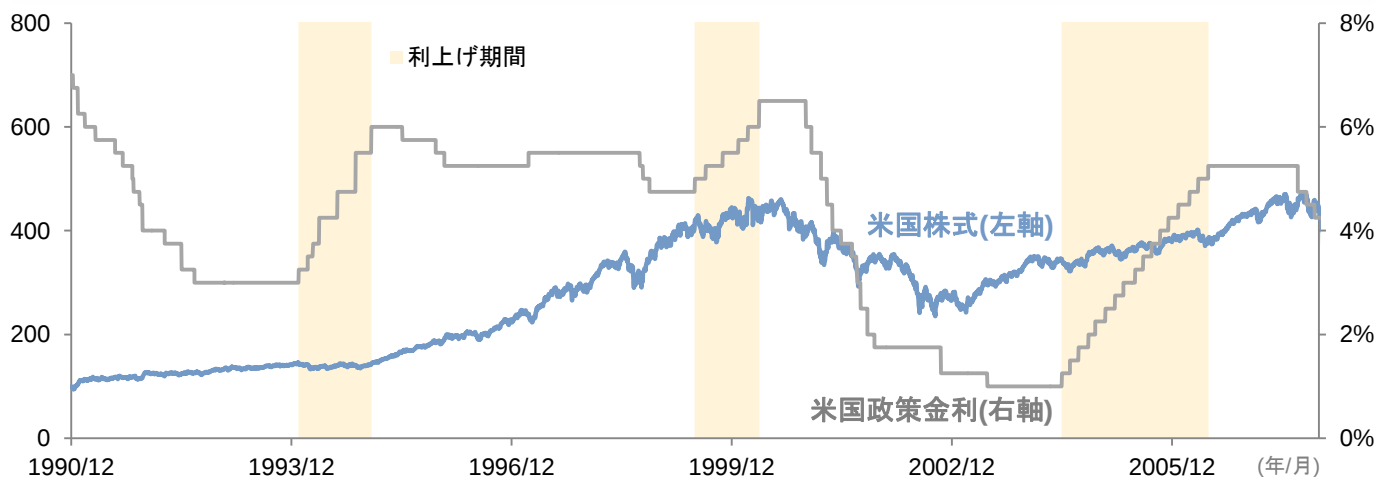
米国の利上げとITセクター

過去の利上げ後におけるITセクターのパフォーマンスは堅調

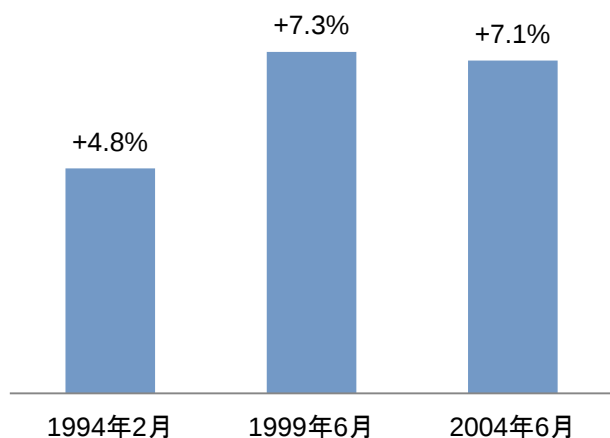
過去の利上げ局面において、米国株式市場は堅調に推移しました。その中でも、ITセクターは相対的に最も大きく上昇しました。

利上げ局面は、一般的に業績相場色が強くなるなか、景気敏感セクターや利益成長性の高いセクターが選好される傾向があります。加えて、ITセクターは相対的に負債比率が低いことから、利上げによる負債コスト上昇の影響が軽微であることも、過去にITセクターが利上げ局面で優位に推移した背景と考えられます。

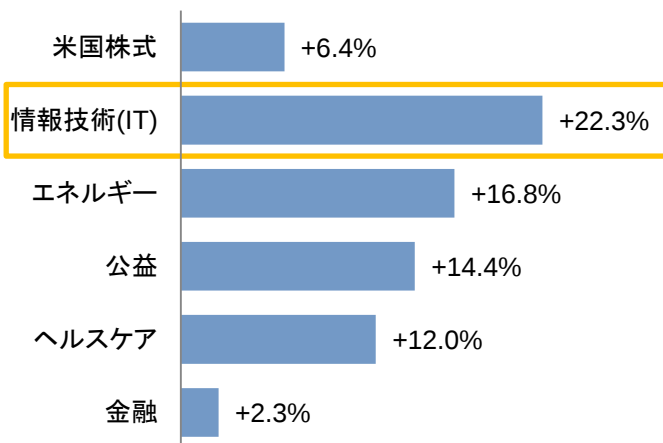
米国株式市場と政策金利の推移



利上げ開始後1年間の米国株式のリターン



利上げ開始後1年間の平均リターン上位セクター



出所: ブルームバーグ、GSAM 左図は過去3回の利上げ局面における利上げ開始日(1994年2月4日、1999年6月30日、2004年6月30日)以降52週間のS&P500指数(配当込み、米ドルベース)のリターン、右図はその平均リターンのセクター別上位5セクター。
セクターはGICS(世界産業分類基準)の業種分類に基づく。ただし、不動産セクターについては十分な過去データが取得できないため除外。